

市民との意見交換会 開催結果

1 開催日時、場所、出席者等

開催日時	令和2年10月19日（月） 13時01分～14時10分
場 所	苫小牧市議会大会議室
テーマ	投票率の向上に向けての取組について
対象団体	明るい選挙推進協議会 3名
議会出席者	金澤議長、藤田副議長、矢嶋会長、神山団長、松尾代表、松井代表、桜井会長、富岡議員、触沢議員

2 発言要旨

明推協・・・明るい選挙推進協議会 選管・・・選挙管理委員会事務局

項目（議題）	発 言 要 旨
1 対象者の拡大について	<p>明推協</p> <ul style="list-style-type: none"> ●18歳、19歳になったことで、看護学校、東高校、中央高校へ選管と出前講座という方法を取り、生徒を対象に、実際の投票の仕方等PRを行った。 ●親が投票に行った際、子がついていって、小さいときから見ていた子たちは意外と投票に来てくれる。 ●出前講座で模擬投票を行い、皆さん初めてということで、投票のルールがよく分かっていなかったが、いろいろなことを学んでいただいた。 ●出前講座の体験を踏まえて、若者選挙サポーターに登録していただいた方もいてとてもいい結果になったと思う。 ●啓発活動は、たくさんしている。苫小牧にイベントがあるたびに、駅前とイオン、午前と午後と分かれて行っている。皆さんの反応はよく、そのときは投票率は上がるかなと思う。 ●若い人に声をかけようという意識があり、18、19になったらお願いしますね、小さい子には、お父さん、お母さんに渡してね、投票に行ってくださいねと言添えながらティッシュやうちわをかなりの数を渡している。 <p>議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本は投票は自由だが、世界では投票に行かないと罰則があり、義務化を取り入れている国もあるようで、99.9%という国もあると聞く。デンマークやオーストリアでは、20代の若者の投票率が80%を超えているというデータがあり、諸外国では立候補者と非常に交流の場があるのか、若い方の関心度が高い国もある。 ●一家団らんのとき政治の話をよくする家庭の子供たちは、後に投票に行くという傾向があり、そういう家庭の76.4%の若者が投票に行っているというデータがある。 ●親の投票についていったことがある子供たちは、大人になったときに63%の投票率があるというデータがある。親が行かなければ、子も行かないというデータで見ると、大人の世代の責任でもあるのかなと。逆に、大人の投票率を上げることが将来若者の投票率も上げるといことになるかとも思う。 ●中央高校の生徒に若者選挙サポーターの方がいて、親は選挙には行かないが、自分は出前講座を通して非常に重要だということが分かったという話を聞き、非常に出前講座が有効だと感じた。特に若い人たちの投票率は、爆発的に上がることはないのかもしれないが、皆さんが一つ一つ、頑張っているところを感じてこれからも少しずつだが、投票率は上がっていくのではないかと、広がっていくのではないかなと感じる。 ●戦後の教育は個人の自由を非常に教えるが、公德心等のバランスに欠いていたのではないかと。もう少し全体の、自分のたとえ一票といえども、その一票がみんな集まって、その意思表示をするということが大切なのだとすることを教えるところで、欠いていたのではないかとと思う。

2 選挙期 日について	明推協	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所は暗い雰囲気がある。 ●場所が多くなったということは有権者の方が投票しやすくなったと思う。
	議員	<ul style="list-style-type: none"> ●簡単に投票ができるという環境をつくるのが大切と思う。例えば、立候補者が少ない選挙においては、投票用紙に名前を羅列して、いいと思う人の名前の上に丸をつける等簡潔なやり方もよいかと思う。 ●投票所が限定されているが、苫小牧市内どこの投票所でも投票できるようにできないのかなと思う。 ●期日前投票が増えてきており、イオンが一番と聞くが、当日はイオンは投票所になっていない。市民が一番行きやすいイオンでも当日投票ができれば。期日前と当日の投票所が別物になっているので、その辺の改善もできればもうちょっと投票率が上がるのではないかなと思う。
	選管	<ul style="list-style-type: none"> ●期日前は、どこの投票所に行っても全部オンラインで名簿がつながっているため、例えばイオンで投票したら、その後、入場券をなくしたと錦岡のほうに行っても、もう投票したということが分かるようにはなっており、期日前は全部そういうシステムが入っている。 ●当日は、まだ全部の投票所をつないでいる状況になっていないので、朝一でどこかの投票所に行って、その後投票所入場券をなくしたと別の投票所に行ったときの把握が、今の状況ではできないということがあって、それぞれの投票所ごとに決めて投票してもらっている。
	議員	<ul style="list-style-type: none"> ●やる気があればやれる、今後の課題と思う。 ●政治に対する信頼や、不信感みたいなものしわ寄せが来ているかと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ●期日前投票所を増やしたり、選挙期間中のSNSの発信を前回の選挙から認められたり、何とか工夫をしながら、投票率が上がるよう真剣に考えているところだが、特に若者の皆さんに、そのアプローチが全く届いていないのかなと感じる。これからも1%でも2%でも投票率を上げるということに対して、何をやっていけばいいのか真剣に考えなければいけないと思う。 ●明推協さんが若年層の皆さんにアプローチをかけた取組を教えてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ●若者たちのアンケートを取った。政治家は演説を行うよりも、地域に顔を出して市民と会話をする、公園で子供たちと遊ぶなど、小さなことから取り組んでいかないと国民からの信頼はないと思うという意見、投票記載所で、名前だけでなく、写真や公約も分かるようにしてほしいという意見等あった。自分たち、若い人がもっと選挙に参加したほうがいいと思うという意見を書いている人もおり、関心がないわけではない。ただ、そこまで行くかどうかの、もう一歩が足りない。何かないだろうか。 ●啓発事業として、選挙や政治に対する関心を高め、投票参加意識の向上を図るため、18歳、新有権者にバースデーカードを送付している。また、成人式において、選挙啓発リーフレット及び明推協オリジナルのものを配付し、選挙や政治に対する関心を高め、投票参加意識の向上を図っている。
3 市議会 や市議会 議員に求 めること	明推協	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントなどでの選挙啓発で、ティッシュやリーフレットを配っているが、もし議員さんに参加していただけたら、もっと身近に感じるのではないかなと思う。また、先日もあったごみ拾いといたボランティア的な活動も地域の皆さんとお話しするきっかけにもなるので、参加していただけたらと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ●やり方の検討が必要とは思いますが、議会内の話合いによって、公平性を保った中で割り当てていくということも協議できると思うので、逆にこちらのほうからよろしくお話ししたい。

	議員	<p>●18歳から選挙権を持ち、戸惑いがあると思うし、何をもって投票するのかということも含めて、本来であれば学校生活の中で、選挙で投票することがどういうことなのかということも含めて教えるような土壌が必要かと思う。議会側として、身近に感じるような取組をする必要があるかと思う。私たち議会改革でも一生懸命考えて、投票率をただ上げるというだけでなく、苦小牧の市民の皆さんが少しでも安心して暮らしていけるために選挙に行こうと、その辺との兼ね合いを一緒に考えていきたい。</p>
	明推協	<p>●前は新聞からの知恵しかなかったが、議会傍聴に行っ初めて、行かないと分からないと思うことがある。一人でも多く、議会傍聴をして議会運営を分かってもらいたい。</p>
4 その他	明議員協・	<p>●町内会について</p> <hr/> <p>●傍聴について</p> <hr/> <p>●議会だよりについて</p>